

国土環境株式会社

設立35周年／創立50周年を祝して

2003年4月22日、東京都千代田区のホテルニューオータニ「鳳凰の間」において、当社設立35周年／創立50周年祝賀会を開催いたしました。当日は社内外の多くの方々にご出席いただき、盛況に執り行うことができました。

以下、当日の一連の動きを再現したものとなります。

開 会

司会：小池達子

皆さま、お待ちいたしました。

本日は、ご来賓の皆さまにおかれましては、ご多用

中のところ、「国土環境株式会社 創立50周年・設立35周年記念祝賀会」にお運びいただきまして、誠にありがとうございます。

ただいまより記念祝賀会を始めさせていただきます。

本日の、このおめでたい会の司会・進行をさせていただきます、私、小池達子と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、本祝賀会は、国土環境株式会社が、本年、わが国初の民間気象予報会社として創立50周年、環境科学の総合コンサルタントとして設立35周年の記念の年を迎えましたことと、新会長、新社長が就任したことにより、新たな経営体制のお披露目を兼ねたものでございます。

本日の記念祝賀会をお祝いして、上浦一道様よりおめでたい謡「石橋」を謡っていただきます。上浦様は社団法人能楽協会会員で、金春流シテ方の教授でいらっしゃいます。海外でも多数公演をなさっていらっしゃいます。

謡ってくださいます、この石橋、これは中国の説話をもとに、観世元正が脚本を書いたといわれております。



天竺の清涼山に、雲より下る、数千丈の、大滝にかかる、長くて険しい、石の橋がありました。一步間違えば、瞬間に滝壺に流されてしまいます。高僧や貴僧でさえも、渡ることが難しいとされる石の橋。この説話は、人生の難行、苦行に耐えることの尊さを説いています。おそらく、常の行き人も、修行さえ積み重ねていけば、渡ることができたでしょう。

本日はこの石橋の、キリの部分を謡っていただきます。橋の向かいに咲き乱れる牡丹の花。その花の精である獅子の軍勢が、勇壮果敢に千秋万歳の喜びの舞いを舞います。

それでは、上浦様、どうぞよろしくお願い申し上げます。

石 橋

上浦一道

獅子團乱旋の舞
楽の砌。獅子團
乱旋の舞楽の砌。
牡丹の英匂ひ充
ち満ち大筋力の
獅子頭。打てや囃せや牡丹芳。
牡丹芳。黄金の蕊現れて。花に
戯れ枝に伏し轉び。げにも上な
き獅子王の勢ひ靡かぬ草木もな
き時なれや。萬歳千秋と舞ひ納
め。萬歳千秋と舞ひ納めて。獅
子の座にこそ。直りけれ。

国土環境株式会社のますますのご発展と、本日ご参加いただきました皆さま方のご多幸をお祈りして、心から



謡を謡わせていただきました。

本日は誠にありがとうございます。

司会：小池達子

上浦様、どうもありがとうございました。

ではここで、会長田畑日出男より、一言、ご挨拶申し上げます。

会長挨拶

会長：田畑日出男

会長の田畑でございます。

本日は皆さま方には何かとご多忙の中にもかかわらず、私どもの記念祝賀会にご臨席を賜り、誠にありがとうございます。本日、このような機会を迎えることができたのも、皆さま方の温かいご指導とご支援によるものと心から厚く御礼申し上げます。

本席のご案内をさせていただきました時は社長でございましたが、3月26日の株主総会におきまして、私が会長に、こちらにおります下野君が社長に就任いたしましたので、ともどもよろしくお願い申し上げます。

弊社は、昭和28年、民間初の気象予報会社としてトウジョウウェザーサービスセンターという名前で創業いたしました。以来、50年ということになります。この気象予報は、初の民放テレビでの天気予報に始まりまして、港湾における波浪予報等を経て、現在では、健康気



象予報、また、災害予報等へと展開しております。

この気象予報で培いました技術は、環境分野への取り組みのきっかけともなったわけでございます。

昭和30年代の後半は、皆さま方もご存知のように、高度経済成長の反面、公害問題が顕在化し、昭和42年には、公害対策基本法が成立いたしました。公害対策への本格的な対応がスタートした時期でございました。そのころは、環境の調査、解析、評価といった専門の仕事をする民間の組織が求められていたわけで、このときに私どもの会社は、昭和43年に新会社として、環境分野のコンサルタントとして、再出発いたしました。



▲会場風景

た。会社の名前も、新日本気象海洋株式会社に変えたわけがあります。

そういうことで設立35周年となるわけでございます。

その後、陸海空の幅広い領域での環境モニタリング・環境アセスメント、あるいは、環境リスクや生物の自然再生等、環境の現況調査から対策立案まで一貫してできるコンサルタントとして成長して参りました。21世紀を迎えまして、環境対策が国土の健全な発展を促すものと認識しており、弊社は環境科学の総合コンサルタントとして、なお一層お役に立つことを

願いまして、2001年1月1日に、現在の国土環境株式会社に改めたわけでございます。社歴につきましては、お帰りのときにお持ち帰りいただくパンフレットをご覧ください。ただければ幸いに存じます。

この間、昭和60年には株式の公開を行い、静岡の環境創造研究所、横浜の環境情報研究所や本社社屋、支店等を建設・設置するなど、各種施設の拡充整備を実現して参りました。また今年の2月には中国に北京事務所を開設することができました。

今日では専門の技術者を中心とする、社員数も500人を超えておりまして、社業の礎が築けたものと考えております。

これもひとえに皆さま方のご指導の賜物と深く感謝しているところでございます。

また先ほど申し上げましたように、本年の3月からは新たな経営体制といたしまして、かねてから熟慮して参りました、会長・社長制を導入いたしました。私はグループ・企業全体の経営を統括いたします。下野君は国土環境株式会社の経営の執行責任者として、迅速かつ効率的な企業経営を行う所存でございます。

今後はこれまでの経験と各種の施設及び人材を機能的に活用し、環境科学の総合コンサルタントとして、社会的使命を果たしつつも、一層皆さま方のお役に立てるよう、社内が一丸となって社業に邁進する決意をしているところでございます。なにとぞ、これまでにご指導、ご鞭撻とご厚意を賜りますようお願い申し上げます。

本日は粗酒・粗肴でございますが、お時間の許す限りご歓談い

ただければ幸いに存じます。小生も後ほど、感謝とお礼のご挨拶にお席までお伺いさせていただきたいと思っております。最後になりましたが、皆さま方のご事業のますますのご繁栄とご多幸をお祈り申し上げまして、私の挨拶にかえさせていただきます。

本日は、どうもありがとうございました。

司会：小池達子

会長 田畑日出男より、ご挨拶申し上げます。

引き続きまして、乾杯にうつりたいと存じます。

どうぞ皆さま、お手元にグラスをご用意くださいませ。

また、ご着席の方々は恐れ入りますが、ご起立くださいますよう、お願い申し上げます。

乾杯のご発声は、二期8年に渡り、神奈川県政を担ってこられ、本日、後進に道を譲られました、岡崎洋様をお願いいたします。

乾 杯

元神奈川県知事
岡崎洋



ただいまご紹介をいただきました。今日まで神奈川県知事の岡崎でございます。二期8年仕事をして参りました。そして、今日、このような、大勢の先輩の皆さま方、そしてまた、国土環境のお仕事等々とは、私よりも大変ご縁の深い方々がたくさんおいでの中で、ご指名によりまして、乾杯の発声をつとめさせていただくことは、大変僣越とは思いますが、おめでたい席でもご

ございますので、一つご容赦をいただきまして、乾杯の発声をつとめさせていただきます。

今、田畑会長さんがおっしゃいましたように、創立50周年・設立35周年、一口にこう申しますけれども、環境ということを企業として取り組んで、しかも経営を健全な形で進めていくというのは、大変なご苦労が続いてきたものと思います。今でこそ、環境といえば、なんとなく、そうだそうだということになりますけれども、それでも各論ベースでは、民間の企業が担えるには、かなり限界があるところが多いのではないかと考えております。そんな中で、環境専門の企業として、日本のパイオニアとして、ここまで発展されてこられました。この50年間のご苦労に対しまして、皆さまとともに、ご祝福をすると共に、21世紀に向かひまして、本当に環境の世紀の中で、新しい社長そして会長という新体制のもとに、ますますご発展をいただき、社会貢献に繋げていっていただきたいという気持ちを込めまして、皆さまとともに、喜びの杯をあげたいと存じます。

おめでたい席、おめでたい日でもございます。どうぞ、おめでとうございます、という発声で、ご唱和をいただきたいと思ひます。

国土環境株式会社のますますのご発展と、ご来席の皆様方のご健勝を祝ひまして、杯をあげたいと思ひます。

おめでとうございます。

司会：小池達子

岡崎様、誠にありがとうございました。皆様、ありがとうございました。どうぞ、ご着席くださいませ。

それでは皆様、しばらくご歓談

いただきたいと存じます。

ちょうど今、庭園の方のカーテンも開きましたので、景色等も楽しみながら、ご歓談いただければと思ひます。

また、会長田畑日出男と社長下野雅之が皆様のテーブルにご挨拶に伺ひます。日ごろの、私どもの活動に対する、忌憚のないご指導と、今後に向けたご助言を、お願いできれば幸いです。

では、ごゆっくり、ご歓談ください。



▲日本庭園

